

ふるさとの鼓動 北に生きる心 むすんで

こぶし

第124号 2007年5月23日発行
発行責任者：横井正人 編集：機関紙局
特定非営利活動法人 民族歌舞団こぶし座 北海道函館市陣川町 122-172
TEL/FAX: 0 1 3 8 - 5 4 - 2 8 5 9 年3回発行
E-mail:kobusiza@wing.ocn.ne.jp http://www18.ocn.ne.jp/~kobusiza/

主な内容

- (1) 第9回通常総会開かれる
- (2) 全道制作活動にむけて
- (3) こぶし座公演に関わって
- (4) こぶし座「印象記」
- (5) 後援会総会開かれる

厳しい時代だからこそ、夢をもって より地域に根ざした活動を！

第九回通常総会開かれる
四月二十九日・こぶし座会館にて

まるで待ちわびていたかのよう、会館前のこぶしの木に花が咲いたこの日、二〇〇七年度の「第九回通常総会」が開催されました。

開会に先立ち、理事会より社員総数は十九名との報告があり、総会出席社員は十六名であることが確認され、開会となりました。

はじめに横井理事長が「昨年は新しい作品を完成させて、創立四十周年記念公演を実施できたこと、そしてその作品をもって函館をかきわきりに道内各地をまわり、多くの方たちから共感の声が寄せられたことは活動の確信となり大きな力となりました。今日の総会を成功させ新たな活動の出発点としたいと思いません。」と挨拶しました。

第一号議案「二〇〇六年度事業活動報告」では、道南・津軽・南部の芸能を取材・習得したことで、新しい作品を創り六月の創立記念作品として実施できたこと、公演及び講座は二〇九回（約一六、七〇〇人）開催したことなどが

報告されました。これを受け公演部長から「昨年六月、初演となった函館公演。追われるような毎日と焦りと不安を抱えながらも精一杯の力と情熱を持って挑ませたもの、それは取材で出会った人たちが芸能から得た力、応援してくれる人たちの思い、そしてなにより新しい作品を生み出した喜びでした。自分自身と闘いながら勝ち取ってきた力はさらに新しい創造への挑戦に繋がっています。」と、いま新しい課題に挑んでいる様子を伝えながらの発言がありました。

第二号議案「二〇〇六年度収支決算報告」では、公演収入が予算どおりに達成できず資金繰りが厳しくなっている状況が報告されました。続いて「監査報告」がおこなわれ、NPO法人設立時から昨年度までの推移を見ると、事業収入が落ち込み財政運営を厳しくしています。座の本来の業務である公演活動を前進させることが急務です。」との指摘がなされました。

第三号議案「二〇〇七年度事業活動計画」では、伝統芸能の調査・継承・研究、作品創造など具体的な計画が報告されました。

この提案に関連して、制作部長より、「座の公演は共感を持って迎えられているのに、収入目標まで公演を創れないのが、座の一番の問題です。函館圏や札幌圏は全座で公演依頼活動を行っています。他はほとんど一人で担当し、手が回らない状況に

なっています。公演目標を達成させるためにも、今年度は全座で一般公演を柱とした全道域での依頼活動を展開します。」との発言がありました。

続いて創演部員からは、「こんな時代だからこそみんなの手をつなぎ合いたい」とこぶし座公演が取り組まれていること、舞台への感動が公演終了後には公演車購入募金として寄せられていることなど、一般公演の様子が伝えられました。また、「座員一人一人が地域に飛び込み地域の要求、座に求められているものは何なのかを掴み作品に反映させていきたい」「地元函館に根ざした活動をしていきたい」などの発言が続きました。

これらの発言をうけ、社員からは、「みんなでオルグはこぶし座のひとつの生命線、よく決心した、大変だがそこに希望がもてる」、「地域との密着、そこをもっと追求、接点をもてる公演を」、「市内の祭り、イベントなどを掴み年間で計画を立て打って出てはどうか」、「会館に足を運ばせる行事、座員とふれあう機会をつくり興味をもってもらえるようにしたい」等々活発な発言が相次ぎました。その熱気におされて、公演部が実践・作品化をめざしはじめた津軽

三味線の合奏と箏の合奏を披露。冷や汗湿じりの演奏に励ましの拍手が湧きました。

第四号議案「二〇〇七年度収支予算」では、公演収入、こぶし座基金、公演車購入を重点とした予算が提案され、財政危機を乗り切るために、総力を挙げて向かうことを確認しました。

こうして、全議案が承認され審議を終りました。最後に理事長が「今日出された意見を早速実践に移し、全座で全道域の公演依頼活動に挑んで公演目標を達成させ、苦勞を喜びに変えて行きたいと思えます。」と締めくくりました。

現実には厳しくとも、座の四十年の歴史を土台に、地域の人たちと語り、学び、心を結び合っていきたい。新しい自分への挑戦がまた一歩、動き始めました。



夢は、矢白別の原野で
闘いの三味線を弾くこと！
津軽三味線に挑む田畑



真剣そのもの...保育園での実践めざして

NPO法人・通常総会での活発な話し合いを受け、全座員が一丸となって一般公演を依頼して歩こう!! 座を代表して理事長自らの熱い決意をお伝えします。

全座で制作活動を

横井正人

今年二月・三月、昨年に引き続き一般公演を行った。

人と人の繋がりを大事に活動している道内各地域の人達との出会い、楽しんで観てくれる来場者、寄せられる感想、ほんとうに嬉しく思った。

人間らしく生きることが難しい時代にあつて、心と心を通わせ感動を共有できることの喜びと、座の仕事への確信をいっそう強く感じる事が出来た。

「さあ新年度、全道各地で公演を!」しかし... 数年前から公演数が減少し年間目標が行かないのだ。

過疎化による地域の崩壊、若者の流出と高齢化など実行委員会作りが難しくなり公演が成立しない、学校では授業時数が減った影響で芸術鑑賞の時間が削られ実施校が激減した。

厳しい現状を克服しようと努力してきたが、少ない制作

部員だけでは依頼活動を十分に行うことが出来なかった。今年こそは、何としても公演目標をやり遂げようと、全座員で制作活動を展開し向かうことにした。

学校公演の依頼活動は経験があるにしても一般公演は初めての公演部員もいるが、みんな力を合わせ新しい発想で取り組むことで、これからの制作活動のあり方も見えてくるのかも知れない。

さっそく、湧別町で酪農を営んでいる学生時代の友人に公演依頼の電話をかけてみた。

「いつ来るんだ? 待ってるぞ!」懐かしいその声は弾んでいた。

ともに函館の高等専門学校を卒業し、酪農と芸能という学業とは畑違いの仕事に就いている共通点が、気持ちの上で近い存在として感じてきた。

「酪農と芸能」を語り合うのが楽しみだ。そして、彼の酪農仲間達にも会ってみたい!

広い北海道を座員全員で駆け回り、三十力所を超える地域での一般公演を実現させた。

もちろん地元函館でも後援会員との繋がりを深めながら様々な規模や形態の公演や催しを積極的にを行い、6月下旬や9月に地域公演を開催して、各町内の方々にもお世話になろうと思っている。

全座依頼活動を通して各地域で暮らす人達ともしっかりと深く結びつき、どんな要求にも応えられる一人二人での活動も模索しながら、北海道にしっかりと根を張ったこぶし座にしていきたい。

皆さんの周りで、座を必要とする活動がありましたら、是非ご一報を!



ファイトー! オー!! 全道に向け出発...

「私たちがお願いに伺います。お力添え下さい。」

この度の江差町での公演は、「たば風の祭典」という町内の催しの一環として取り組まれました。実行委員の中心の一人として奮闘してくれた長尾さんからの寄稿を紹介します。

こぶし座公演に

関わって

長尾 千代子

しなやかで力強い踊り、舞台と会場が一体になる感覚、沸き起こる拍手。

私達のこぶし座が松山に還ってきた。まさに、そう感じた瞬間でした。

私とこぶし座の出会いは、今から二十数年前、まだ松山音鑑に入りたての二十一の時でした。初めて目にする車人形の動きに驚き、アイヌの鳥の舞いに、涙が止まらなかつたのを覚えています。

松山音鑑で知り合った仲間と結婚し、子供が出来て、こぶし座の公演を見に行き、客席まで降りてきた獅子が恐いと泣き出して、みんなで大笑いした事もありません。

農家が出来なくなると途方に暮れていた時、座の人達が自分の事のようについて励ましてくれた事、今でも忘れません。

こぶし座の公演の度に、交流会に集まった仲間達とお互いの思いを確かめ合い、その笑顔に、生きる勇気をもらっています。

今回の江差での取り組み

も、様々な事がありました。勤医協の職員、看護師を中心に、多種多様な職種、年齢の人が集まって実行委員会を立ち上げ、時には夕食を囲みながら、活気あふれる時間を過ごせたと思います。

取り組みを通しての新たな出会いは、とても刺激的でした。又、追分日本一の木村香澄さんがゲスト出演してくれた事になり、公演に華を添えてくれました。

公演の5日前、目標まで、あと八十枚足りないと言われた時は、どうしようかと不安が過りましたが、出来事はあっさりめで、やってみようという事で、それぞれが、一件一件足を運び、当日は目標を大きく上回り、会場に行列が



「江差町公演」を終えて...

出来ました。これが、こぶし座の底力、松山の人の支え、そして、みんなの努力が実を結んだという充実した思いを味わう事が出来ました。

今、松山の地域では、学校が合併する事によって、郷土芸能の存続が難しいものになってきています。このままでは子供達にとって、郷土芸能は、その地域にいながら、なじみのないものになってしまっています。

伝統芸能を受け継ぎ、次の世代に伝えていくこと、こぶし座がずっと取り組んできたことです。私達は、その意味を、もう一度考えなければならぬのではないのでしょうか。

最後に、遠く函館方面から、かけつけてくれた方々、リュックを背負い、杖をつきながらバスに乗ってきてくれたおはあちゃん、帰りの送迎のバスの中でも、皆、良かったよと満足そうな笑顔で話してくれました。

こぶし座は、本当に皆さんに愛されています。これからも、その笑顔と力強さとあたたかさで、たくさんの人を勇気づけ、郷土芸能の素晴らしさを伝えていって下さい。

冬期・一般公演は、舞台の専門業者「ステージアンサンブル」の奥山茂さんに照明スタッフとして加わってもらいました。遊び心いっぱいユニークな方でいながら、プロとしての技量の高さはモンブラン級(!!) 冗談はさておき、公私ともに本当に学びの連続でした。その奥山さんからの寄稿です。

レンタル座員の「こぶし座」印象記！
奥山 茂

積雪の少ない今冬の二月下旬から三月中旬にかけて、こぶし座一般公演に照明担当として七市町の公演に同行させて頂いた。

そして、新たな発見とこぶし座の存在を改めて見直す機会となり、私には貴重な経験を得る旅となった。

こぶし座と私は20年来の「付き合い」・・・と言いたるところだが、理事長の横井さんとお知り合いになってから20年弱と言った方が正確であり、あいにく仕事や座の公演で一緒に過ごす縁もなかったのだが、横井さんからの予期せぬ一本の電話から、こぶし座の皆さんと初めての舞台創りを共にする機会を頂くことになった。

地方公演出発の数週間前に打合せとリハーサルを兼ねて座を訪問するが、衝撃的な事柄がぞくぞくと現れ、これ程までの規模で座の運営がな

れていたのかと、驚きを隠せなかった。

それは、「こぶし座ワールド」と言っても過言ではない程、自らの活動拠点を造りあげていた事である。

「稽古場と事務所」、「共同住宅」の二棟が陣川の森に毅然とそびえ立ち、内を覗けば昼食も夕食も座員の賄いで皆「同じ飯」を食っている光景を目の当たりにして、家賃とローン、稽古場(音)と近隣迷惑、外食と自炊、と云った

様な事実比較が自然解消され、合理的で経済的な運営方針で営まれていることに強い印象を受けた。

そして、座員の皆さんとの新たな出会いが待っていた。横井、松岡両氏を除いた他の座員の方々は初対面だったが、舞台を志す者同士、親近感を得るには長い時間は必要なかった。

打合せ後に座員の皆さんとの懇親を兼ねた昼食をご馳走になり、笑いの絶えない時間を過ごす事ができた。

そんな出会いから記憶は地

方公演と変わるが、余市を皮切りに江差、せたなの三連チャン公演。座員と私との本質を伺い合う真剣勝負の現場に突入する。

失礼ながら、日常では何い知れない人柄も舞台では緊張感と興奮で本質が見え隠れすることが良くあり、性格診断には最適な空間である。もちろん私も同様に本質を隠し切

れずに恥をかき事がよくあるのだが、ふたを開けてみれば座員だれ一人と乱すことなく、小慣れた動きに感心し、チームワークの良さにも脱帽した。

この度は、役者五名、音響、照明、制作と裏方が三名、計八名の一行で道内を駆け巡り、五名の役者さんは、仕込みの時は裏方、本番では表現者として舞台上立ち、厳しい二役をこなしていた。

私も仕事柄、北海道各地の文化活動と触れる機会が少な

くはないのだが、こぶし座との一歩踏み込んだお付き合いをさせて頂いたことで、認識を改めさせられた。

こぶし座四十一年の歴史と七千九百回の公演回数、そして百十四万人の観客動員、その実績はまぎれもなく北海道唯一の「民族芸能プロ集団」であり、この実績に並ぶ団体は聴いた事がない。

こぶし座が提唱する民族芸能の継承・研究・創造・普及により一層の充実を図り、北海道の基盤を飛び出し、北海道を巡る旅に出たいものだ。その為にも、観客を魅了する作品との出会いを求めて、今後とも「こぶし座」と携わって行きたいと思う。



旅の途中...「疲れを癒しに温泉へ」

そつ云つ面でも座員ひとり一人が貴重な歯車となってこぶし座を回している事を実感する。

地方公演中盤では、札幌、沼田、滝川と周り、最終公演の音更が終わる頃には座員の皆さんとの「心のつながり」を感じ取れる程に親近感がより一層深まり、同じ函館を拠点として活動する者同士、有意義な出会いに感謝するしだ

いだ。

2007年度 公演活動

<一般公演>

- 6月28日 厚沢部町清和地域
- 6月30日 函館市本通地域(予定)
- 9月15日 函館市美原地域(予定)
- 9月27日 函館市恵山地域(予定)
- 11月 8日 留萌市(予定)

<学校公演>

- 8月21日 札幌市北野台小学校
- 8月22日 小樽市幸小学校
- 8月23日 安平町(巡回)
- 8月24日 安平町(巡回)
- 8月27日 安平町(巡回)
- 8月31日 北見市西小学校
- 9月 4日 八雲町(教育委)

- 9月 5日 八雲町(教育委)
- 9月 6日 八雲町(教育委)
- 9月10日 帯広市柏小学校
- 9月11日 えりも町(巡回)
- 9月14日 函館市中の沢小学校
- 9月25日 札幌市新陽小学校
- 10月 3日 横浜市二俣川小学校
- 10月 4日 横浜市さちが丘小学校
- 10月18日 所沢市コナインターナショナルS
- 11月30日 札幌市手稲養護学校

<保育園・幼稚園公演>

- 6月27日 上ノ国町-全町の保育所
- 7月 4日 札幌市発寒ひかり保育園
- 7月 5日 羽幌町(教育委)

- 10月19日 日高市フレンド幼稚園
- 11月30日 札幌市菊水上町保育園
- 12月11日 札幌市柏葉保育園
- 12月12日 札幌市北の星東札幌保育園
- 1月15日 八雲町国の子保育園
- 1月16日 函館市いづみ保育園
- 1月17日 函館市三育保育園
- 2月 5日 札幌市北の星東札幌保育園
- 2月 6日 札幌市北の星白石保育園
- 2月 7日 札幌市北郷ピノキオ保育園
- 2月 8日 札幌市川沿保育園

<講座講習ほか>

- 6月23日 函館市国の華幼稚園観音祭
- 8月16日 檜山文化活動講座(予定)

第十八回

こぶし座後援会総会
開かれる

「二〇〇七年度後援会総会」が、五月十三日こぶし座会館において二二名の参加で開催されました。

三浦恒雄会長の「去年の今頃は四〇周年記念公演の為にばく進中でした。今年は『こぶしtheまつり』を復活させるなどいろいろ計画を立てています。世の中の動きが不安定な今だからこそ、こぶし座の芸能が求められています。今年もよろしく願います。」の挨拶からスタート。

座から横井理事長が挨拶し・公演車購入にあたり、募金活動を取り組んで「後援会」として贈って欲しい。

「こぶしtheまつり」を一緒に取り組んで欲しい。というお願いをしました。

続いて議事に入り、活動のまとめや決算報告、そして今年度方針が討議されました。

事務局からは、「公演車購入募金は総額六〇〇万円の内三〇〇万円は創立四五周年までに頑張りたい。具体的にすすむ為に三年間だけ一口うわのせしてもらえないか。応援バザーも力を入れたい。また、『こぶしtheまつり』は実行委員会を作り楽しく取り組みましょう。」と話されました。

「こぶしtheまつり」は早く取り組みを開始したほうがいいね。「公演車購入募金の呼びかけがんばろう」などの意見が出され方針が確認されました。

参加者一人一人からこぶし座を応援する気持ちが伝わってきて、とても励まされる総会でした。

総会後は恒例のお花見で楽しいひと時を過ごしました。

【二〇〇七年度の計画】

・こぶしtheまつり

七月二十九日(日)

・応援バザー

八月二十九日(日)

・秋のレクリエーション

日程・場所など検討中

みんなの夢を運んだ二代目コースター



10年間、本当にありがとう！
走行距離20万km・地球をなんと!!...約5周も。

【公演車購入募金へご協力を！】

私たちのNPO経営の柱である公演活動...。様々な出会いの場を創るためどうしても必要な公演車両の確保。本来であれば、計画的に購入資金を積み立て準備していくのがあたり前のことなのですが、公演収入の減収や本部会館の営繕費用の負担増等困難な局面を打開するのが精一杯の状況で、車両の購入計画の進捗が遅れてしまったのが実態です。

現在、公演車の実情は待たなしという有様で、このままでは安全な運行に支障が出かねない状況となってしまいました。

どうか私たちの趣旨をご理解頂いて、公演車購入の募金運動へご協力下さいますよう座員一同、心よりお願い申し上げます。

みんな集まれ！

こぶしtheまつり

7月29日(日曜日)開催

実行委員大募集

自然がいっぱい、夏の里山で
楽しいお祭り一緒につくりませんか?!

第1回実行委員会: 6月8日(金)夜 7:00 -

みなさんのご参加、お待ちしております!!

創立40周年記念出版
「北に、生きる心むすんで」
- 民族歌舞団こぶし座
40年の歩みと作品 -

編・著 國田修司
定価 1,800円
(送料 340円)



みなさん是非ご購入ください!
申し込み、問合せはこぶし座まで

第22回 日本の踊り・太鼓講座シリーズ
函館講座のお知らせ

太鼓の基本: 「盆踊りの太鼓」コース
日時: 7月21日(土) 13:30 ~ 16:00
定員10名 受講料: 2,000円(中高生も一律)

太鼓の基本: 「盆踊りの太鼓」と
「ぶち合わせ太鼓の基本」コース
日時: 7月22日(日) 10:00 ~ 16:30
定員12名 受講料: 4,000円(中高生も一律)

会場は、ともに「こぶし座会館」です。

第4回
札幌講座のお知らせ
初級

太鼓の基本~「ぶち合わせ太鼓」
笛の基本~「わらべ唄」まで

日時: 7月7日(土) 18:00 ~
8日(日) 9:00 ~

受講料: 一般 5,000円

会場: あゆみ幼稚園(伏古)

【お知らせ】
最近、助成金情報や公演などの問合せがインターネット上を介して行われる事が増えてきたことに伴い、4月18日よりISDNから光接続に切り替えました。
ホームページ・E-mailのアドレスも下記に変更。
http://www18.ocn.ne.jp/~kobusiza/
E-mail:kobusiza@wing.ocn.ne.jp

公演車を贈ろう!
こぶし座応援バザー のお知らせ

主催 はこだて音鑑応援団
こぶし座後援会

8月19日(日) 午前11時より
物品の提供よろしく願います。
みなさんのお出でをお待ちしております

会場 函館音楽文化センター(はこだて音鑑)
函館市高盛町22-7 (問合せ) 0138-32-1773